

日本・ケニア外交関係樹立 60 周年記念レセプションにおける岡庭健大使の挨拶

ケニア・日本同窓会の皆様、ご来賓の皆様、ご列席の皆様、

今年、日本とケニアは外交関係樹立 60 周年を迎えました。私は第 20 代駐ケニア日本大使として、皆様とともにこの記念すべき年を祝うことができ、大変幸運に感じております。

私たちの友情は、両国民の数多くの交流を通じて育まれてきました。皇室の方々や政治指導者の方々の注目度の高いご訪問は確かに大きな力となりますが、人と人との交流が私たちの関係に広がりをもたらしています。ケニアの同僚と一緒に働く日本人海外ボランティアや JICA 専門家、ケニアの学者と共同研究を行うために毎年訪れる日本人教授、政府奨学金を得て日本の大学で学ぶケニアの若者、日本で研修を受けるケニアの専門家、障害者やストリートチルドレンの生活再建を支援する日本人など、数え上げればきりがありません。

今日、私はこの機会に、何名かの卓越した貢献者の方々を表彰致します。しかし、ここにお集まりの皆様は、何らかの形で日本と特別なつながりを持つ方々ばかりです。私たちの友好に貢献されたことに心から感謝申し上げます。室内の写真展には、本日ご参加の多くの方々が写っていますので、ぜひご覧ください。

日本とケニアは、良い時も悪い時も常に支え合ってきました。2011 年の東日本大震災と津波が日本を襲ったとき、ケニアの人々は日本人の人々との連帯を表明しました。COVID19 パンデミックに苦しんでいたケニアに、日本はコールドチェーン機材とワクチンを供与しました。

2023 年は、ケニアと日本の二国間関係の歴史において特別な年となりました。5 月 3 日、岸田文雄首相はケニアを訪問し、ウィリアム・サモエイ・ルト大統領と会談しました。この首脳会談は、両国関係の強化に貢献しました。もう一つの大きな出来事は、下院議員によるケニア・日本友好議員連盟の設立です。本日、同連盟所属議員も出席しており、深く感謝申し上げます。私は、同連盟のメンバーが近いうちに日本を訪れることを願っています。

先日、日本の大学が日本大使館で「日本留学フェア」を開催しました。参加者数は定員をオーバーし、日本への留学を熱望する約 300 人の若い学生が集まりました。将来に向けて、私たちの友情がさらに深まることは間違いありません。

ありがとう、そしてアサンテニ・サナ。